

平成２９年度第１回「人吉市地域公共交通活性化協議会」

期 日：平成２９年７月３日（月）

時 間：１３：３０～１４：２５

場 所：人吉市保健センター教室③

出席者：別添名簿のとおり

議事（１）：平成２８年度事業報告について

議事（２）：平成２８年度決算報告及び監査報告について（高山委員から、監査報告）

（松田副市長：会長）

- ・議事１、議事２の事業報告並びに決算報告について、質問等はないか。

（委員一同）

- ・異議なし。

議事（３）：平成２９年度事業計画（案）について

議事（４）：平成２９年度予算（案）について

（松田副市長：会長）

- ・議事３、議事４について、確認事項、質問等あればお願いします。
- ・事業計画について。平成２８年度に行った予約型乗合タクシーの区域運行の実証実験については、データが不足している。再度取り組むかを市で検討した結果、今後取り組むということ。９月議会で予算を確保してまたこの協議会に諮っていくことになる。今のところ予算等にも反映されていない状況。

（委員一同）

- ・異議なし。

議事（５）：人吉市地域公共交通網形成計画（案）について

（松田副市長：会長）

- ・公共交通網形成計画（案）については、パブリックコメントを行っている。平成２８年度の最後の協議会の時に、内容等についてはご説明し、パブリックコメント後に、見直しを入れるということにしていた。パブリックコメントが３件出ており、検討した結果、修正等をかけている。
- ・質問等あればお願いします。

（小原首席運輸企画専門官：国土交通省九州運輸局熊本運輸支局）

- ・確認だが、大畑地区の実証運行の件で、昨年のお試し大畑号については既存の乗合タクシーに比べて利用数が少なかったということだと思うが、今後は既存の路線型の乗合タクシーではなくて、区域運行にシフトしていくという考え方か。
- ・Ｐ８８に記載の内容と考え方がよくわからなくなってきた。今までの路線定期型で行くのか、区域運行型に変えていくのか。どちらの方向で検討していくのか。

（事務局）

- ・大畑の運行については、実証運行でデータが足りなかったこともあり、Ｐ９１に改善案として掲

載しているが、区域運行のデータがほしいため区域運行を試したい。

(小原首席運輸企画専門官：国土交通省九州運輸局熊本運輸支局)

- ・ P 8 8 の上から 2 行目、3 行目のところで「既存の乗合タクシーと想定される」というような書きぶりになっているので、区域運行ではなくて、今までの路線定期の方が、利用者がいるという風に捉えてしまった。書きぶりとして矛盾しているのではないかと感じる。

(事務局)

- ・ 既存の乗合タクシーは定時性においてニーズが強く、一定数の利用があるため、ここはこれで維持したい部分がある。併せて、実証運行の中で新しいニーズを掘り起こしたという意味では、大畑地区からサンロードシティの部分で一定数の利用があるので、軸としては乗合タクシーを生かしつつ、プラス区域運行を別路線で出すのか、あるいは時間帯で分けるのか検討する必要があると考えている。基本は既存の乗合タクシー。プラスで、新しくニーズを掘り起こした区域運行をどう生かすのかという意味合いで掲載している。

(小原首席運輸企画専門官：国土交通省九州運輸局熊本運輸支局)

- ・ 今後並行して考えるということか。

(事務局)

- ・ 今年度できれば実証運行をしたいため、やり方を考える中でどういう組み合わせができるか検討していきたいと考えている。

(大井准教授：大分大学)

- ・ ニーズが違うので、別形態のものを並走させるという趣旨では。それでもなお、やってみて難しければ、一本化させることを考える。今年度様子を見たいということか。

(事務局)

- ・ そうだ。

(大井准教授：大分大学)

- ・ パブコメの最後のコメントの「地域住民もがんばります」の一言が大変刺さる。この方を交通会議に呼んでもらって、ぜひ民間として頑張ってもらいたい。
- ・ パブコメのやり方は今後検討していただきたい。資料を置くにしても、見に来なさいという方法では上手くいかない。別の自治体では、コメントがゼロだったところがある。『置いているので見に来てください。』、『何かあったら言ってください。』、『インターネットに載せています。』という方法では、コメントは集まらない。例えば、バスの中に簡易版をぶら下げて見てもらい、興味のある人には本資料を持って帰ってもらうという方法等も今後検討した方が良いのでは。よく利用している方から意見をもらった方が、良いコメントが出る。
- ・ 3 つ目のパブリックコメントの回答について。『行政区を越えるので問題がある』という書き方をしているが、錦町として問題がないのであれば書かない方がよいのでは。この乗合タクシーは錦町の方は使えないので、錦町の公共交通を邪魔するものではない。乗合の場所が行政区をまたがるだけのこと。この会議で合意が取れるのであれば、この記述を削ってもいいのでは。事務局として調整に問題があるということであれば残した方がよいと思うが、市民の方がこの回答を見た時にどう思うかを考えると懸念する。

(小原首席運輸企画専門官：国土交通省九州運輸局熊本運輸支局)

- ・ 昨年の実証運行で錦町（イオン）に乗降ポイントを設置するとの話だったが、そもそも区域運行のため、本来は商業性が高いということがある。昨年度は乗降ポイントだけという話だったので、

区域運行から外れるとしても、実証運行なのでやむなしという整理をしていたところ。今後区域運行でやるという方向性の中で、区域運行という制度になじむものであれば問題はないが、やり方次第によっては、外れてしまう可能性もあると少し懸念する。

(大井准教授：大分大学)

- ・実験のレベルだったらなんとかなるか。この趣旨だと、予算が確保できれば、今年度もう一度やるという趣旨。

(小原首席運輸企画専門官：国土交通省九州運輸局熊本運輸支局)

- ・産交バス等との路線の兼ね合いもあると思う。

(事務局)

- ・区域の一部がサンロードシティの中にある。イオンの錦店の玄関は錦町。大畑地区には路線バスはないので、路線バスとの競合は発生しない。

(松田副市長：会長)

- ・ただし書きについては残し、事務局で錦町との協議を具体的にさせていただきたいと思う。よろしいか。
- ・意見がなければ、地域公共交通網計画案でやっていくことでよろしいか。

(委員一同)

- ・異議なし。

議事（６）：協議会規約の改正について

(松田副市長：会長)

- ・機構が変わったため、事務局の位置付けを人吉市に置くということでやりたいということ。よろしいか。

(委員一同)

- ・異議なし。

以上